

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活援助技術 活動・休息		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	14 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	本館、実習室
担 当 教 員	鬼頭 浩美	実務経験と その関連資格	大学病院勤務9年 看護専門学校勤務18年 看護師・専任教員・ケアマネージャー			
《授業科目における学習内容》						
看護援助において、患者と看護者双方が、安全かつ安楽な体位で、効率的・効果的にケアを実践する基本的方法を習得する。また、人間の活動と休息の意義を理解し、健康な生活を送るために必要な援助を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
授業出席状況、個人レポート10%、実技試験30%、終講試験60%の割合で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 基礎看護学①基礎看護技術						
《授業外における学習方法》						
看護技術は授業演習時間だけでは修得に限界があります。時間外を有効活用し練習することが必要です。						
《履修に当たっての留意点》						
安全、安楽な援助を実施するために、根拠をもって援助技術を習得しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとっての活動の意味を考え、姿勢の基礎知識とボディメカニクスの原理が理解できる	教科書	日常の動作について考えてみましょう	
		各コマにおける授業予定	①安楽な体位と体位による生理学的影響について ②良肢位 ③ボディメカニクスの原理			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを効率よく活用した援助方法を理解することができる	教科書	体位の種類、ボディメカニクスの原則について復習し、演習に臨みましょう	
		各コマにおける授業予定	①体位の種類 ②安楽な体位 ③ボディメカニクス 看護者の身体の安定 作業効率を考慮した動き			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを活用した体位変換の実際が理解できる	教科書	体位変換についてテキストの動画を見て予習し、演習に臨みましょう	
		各コマにおける授業予定	①水平移動 ②上方移動 ③仰臥位から側臥位 ④仰臥位から座位			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	車いすへ移乗・移送、ストレッチャーへ移動・移送の方法が理解できる	教科書	車いす移乗・移送、ストレッチャー移乗・移送について動画を見て予習しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	①車いすの名称・点検方法 ②車いす・ストレッチャー移送の基本			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを活用した車いすへ移乗・移送、ストレッチャーへ移動・移送の実際が理解できる	教科書	車いす移乗・移送、ストレッチャー移乗・移送をテキスト動画を見て予習し、演習に望みましょう	
		各コマにおける授業予定	①車いすへの移乗・移送 ②ストレッチャーへ移動・移送			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを活用した体位変換が実施できる	教科書	ボディメカニクスを活用した援助方法について復習し、技術習得を目指しましょう
		各コマにおける授業予定	①水平移動 ②仰臥位→側臥位→端座位 ③端座位→車いす移乗		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠を促す援助	教科書	休息・睡眠について教科書を読み予習して臨みましょう
		各コマにおける授業予定	①サーカディアンリズム ②睡眠の分類と役割 ③休息・睡眠を促す援助		
第8回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			